



上智大学創立 100周年
 上智短期大学創立 40周年
 上智社会福祉専門学校 50周年



国破れてソフィア精神あり

No. 3

1. 敗戦と上智大学の発展

東京は1945年に3月10日の深川浅草地区を初めとし計3度B29戦略爆撃機による大空襲に見舞われる。4月14日未明の空襲では上智大学は焼夷弾74個、爆弾2個をもろに受け、赤レンガ旧校舎は全焼したが、1932年竣工の新校舎(現I号館)は講堂が焼失しただけで全壊は免れた。3度目の5月25日(山の手地区)の大空襲で東京はほぼ全域が焦土となり、8月15日に終戦を迎える。



1945年4月13日から14日の未明にかけてアメリカ軍のB29戦略爆撃機によって焼け野原となった上智大学周辺。後方に1号館が見える。

上智大学はこの戦争が終了すると、力強く未来へ歩きだす。焼け野原となった麹町6丁目一帯を板谷商事から購入、そこにやがて図書館・大学院研究棟、法学部校舎

(旧2号館)、上智会館・学生寮、旧聖イグナチオ教会などが建てられ、大学発展の一大契機となった。他方、太平洋戦争における日本の降伏文書調印式が行われた戦艦ミズリー号の従軍司祭チャールズ・ロビンソン、ポール・オコナー、そして水上機母艦ハムリンに乗っていたサムエル・レイの3人のイエズス会員が調印後の9月5日、仲間の安否を尋ねて上智大学にやって来た。そのとき上智のイエズス会員たちは食糧、衣料の不足はさておき、大学の再開を熱心に希望



(左)聖イグナチオ教会(1949年)、図書館・大学院研究棟(1952年)、(中央)法学部校舎(1957年)、(右)学生寮と上智会館(1957年)

して、日本の再建にかかわる人材を育成するイエズス会員の派遣を要請した。この話がローマのイエズス会本部まで伝わり、後日アメリカばかりか全世界から優秀な若いイエズス会員が日本に派遣されてきた。この人々が戦後の上智大学の発展の中核を担ったのである。

2. 知的欲求に応えた上智大学公開講座

焦土の東京で軍国主義の呪縛から解放された人々が求めたものは、第一に思想統制のない知的な世界だった。1947年岩波書店が西田幾多郎全集を出版した時には徹夜で長蛇の列ができたほどである。人々のこうした知的欲求に応えるため、終戦早々の1946年5月、上智大学は公開講座を開始した。講座には哲学、宗教、ラテン語、英語などの連続講座と、ヨゼフ・ロゲンドルフ神父を中心に企画された特別講座が



国際部はアロイシャス・ミラーSJの尽力で発足した

あった。特に極東裁判首席判事ジョン・ヒギンズ氏、国際戦争犯罪局首席検事ジョセフ・キーンナン氏、判事田中耕太郎氏などの講義は、新聞各紙も取り上げて紹介した。この公開講座から、1949年には神学講座も始まり2年間で宗教科の免許を取得できるコースも開かれていく。同じ1949年にはアロイヤス・ミラー神父の尽力で国際部 (International Division) が設置された。国際部は連合国軍の駐留兵士などを対象として、英語でアメリカ式の講義が行われ、アメリカの諸大学から単位認定を得たおかげで、卒業するとアメリカの学位である B.A または B.S が授与された。のちの比較文化学部、現在の国際教養学部の前身で、上智大学の際立った特色を担っていくことになる。

3. 学生の困窮を支援する

1945年10月25日には、授業を開始した。学徒動員の軍服のまま大学に戻った学生たちは下宿も



学生に慕われたフランツ・ボッシュSJと学生寮ボッシュ・タウン

食事もままならず、多くは学業断念の危機にさらされた。このような学生の困窮を救うために大学は学生寮の建設に取り組む。その先頭に立ったのが学生指導部長のフランツ・ボッシュ神父だった。応急策として旧中島飛行場跡地(吉祥寺)の一角を借り、50人ほどを収容できる宿舎を作ったが、遠隔のため不都合であった。そうした折、米軍からかまぼこ兵舎6棟の払い下げを受け、これを学内に移築し学生寮にした。集会所として使われた1棟

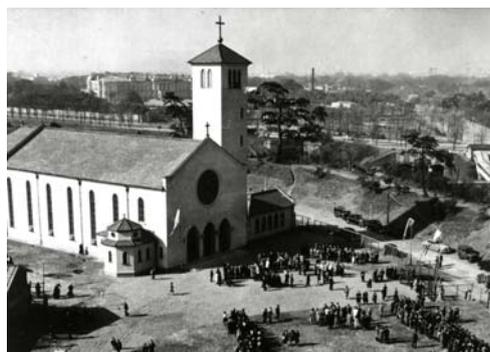
を除いて5棟に計80名の学生が共同生活を送る。舎監のボッシュ神父にちなんでボッシュ・タウンと呼ばれ、1957年、上智会館に学生寮が開かれるまで続く。すべてをさしおいて学生のために奔走するボッシュ師の温かさは、学生たちの心に強烈に刻み込まれた。

4. 400年前のザビエルの念願が叶った

1949年はフランシスコ・ザビエルの来日400年祭が盛大に行われた。ギルロイ枢機卿をはじめとして8か国70余名の国際巡礼団を迎え、ローマから里帰りしたザビエルの聖腕が5月29日から6月12日まで日本全土を巡回し、各地で記念式典が行なわれた。巡回の仕上げのミサが神宮外苑で



行われた後、その「聖腕」が献堂されたばかりの聖イグナチオ教会にやってきた。400年前に「ミヤコに大学を」と願ったザビエルの祝福を受けて上智大学は新たな歩みを始めていく。



1949年4月17日に完成した聖イグナチオ教会